

**令和5年度 秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校  
第2回学校評議員会・学校関係者会議 会議録**

1 日 時 令和6年2月8日(木) 15:45～17:05

2 会 場 会議室

3 参加者(敬称略)

学校評議員	根 岸 均(元秋田県教育長)
〃	谷 口 敏 広(元横手清陵学院中学校・高等学校長)
〃	鈴 木 弘 志(本校同窓会長)
〃	小 川 晴 資(食事処「じいじ亭」代表取締役)
〃	眞 壁 賢 治(元本校 後援会理事)
高PTA会長	岡 部 茂 信
中PTA会長	木 村 忍
校 長	庫 山 徹 高 教 頭 山 本 佳 広
中 教 頭	赤 川 涉 主幹兼事務長 門 脇 郁 子
高 総務主任	亀 沢 貴 子 高 教務主任 進 藤 洋 一
中 教務主任	長 沢 留美子 高生徒指導主事 神 谷 忠 昭
高進路指導主事	佐 藤 寿 特別活動主任 阿 部 大 樹
研究・研修主任	佐々木 信 吾 探究・国際主任 須 田 宏
総合技術科長	福 田 則 彦

**協議・提言「学校評価の結果を踏まえた本校の充実と発展について」**

[高教頭]

今年度も保護者の皆様からアンケートを実施し、教職員についても自己評価を実施した。その概要について中学校教頭より説明する。

[中教頭]

保護者アンケート・教職員自己評価結果概要説明 [資料20～37ページ]

集計結果として肯定的な回答の割合は、中学校が約76%、高校が約67%と昨年度に比べ肯定的な回答の割合が中高ともに若干減少した。肯定的な回答の割合が高かった上位と下位3項目及び昨年度に比べ5ポイント以上増加と減少した項目を資料にあげている。

教職員自己評価集計結果の概要として「良い」「やや良い」「やや悪い」「改善を要する」の4段階で評価平均は3.16、昨年度より0.06ポイント減少し、1回目の8月との比較では若干上昇している。

「主体性、探究力の育成」の平均は3.15で、昨年度より若干減少している。平均が高かった上位と低かった下位3項目を資料にあげている。

成果としては、アンケート結果で肯定的な回答割合が7割前後ということで、本校の教育活動に対しては概ね理解をいただいている。今年度はコロナの制限がなくなり、生徒の豊かな成長を第一に考えて、中高教職員が様々なアイデアを出し創意工夫して教育活動を進めてきた。このことが保護者の高評価につながった。

課題として、「学級の雰囲気がよく、楽しい学校生活が送られる環境だと思うか」「家庭での学習に、一生懸命取り組んでいると思うか」「本校で重点的に取り組んでいる国際教育は十分だと思うか」については、中学校・高校ともに、改善に向けた方策を検討する必要がある。また、教職員自己評価からは、学習習慣の確立に向けた継続的な支援をし、教科部会などで中高の連携を図って6年間を見

通した学習指導を進めていかなければならない。

改善に向けては、学級づくりについて、生徒との対話の場を意図的計画的に設け、自己有用感や自己肯定感を高めていくことができるよう支援していく。併せて、中学校の学級活動を柱とした生徒主体の話合い活動によって生活づくりをしながら、生徒たちの自発的な活動を中心として学級経営の充実を図っていく。また、中高合同による授業改善を一層推進し、国際教育を一層充実させていく。

今年度のキーワードは、学級づくり、学習習慣（家庭学習）、教科部中高連携、授業改善、国際教育、同僚性、情報発信と捉えている。

## 学校評価結果を踏まえた協議・提言

[評価者A]

授業を参観し、本校が通常の学校のように中高ともに正常に生徒職員が機能はしているが、中高一貫校の特色を具体的な場面で出せるように、中高の交流など本校にしかできないことを知恵を出し合いもう少し工夫してもらいたい。また、陸上部の活躍を見たが中高が連携し活動しているのか教えてほしい。外部団体と連携をしたり、生徒の作品を実際持って行き、見せて説明してみてもどうか。量より質の観点から、本校の発展を期待している。授業の感想として、生徒のノートの字が薄い。テストの採点の時も字が薄いと大変である。普段の授業からしっかりと文字を書くように指導をしてもらいたい。

[評価者B]

授業から、生徒がノートパソコンを普通に使っているのを見て定着していると感じた。また、先生方も電子黒板を自在に使っていた。いろいろな場面で生徒とコミュニケーションを取りながら授業を進めていた。学校の教育目標の評価について、今年度の重点目標を主体性、探究力、人間力、高い志の育成を掲げているが、その成果を知るバロメーターとして進路実現が一つの物差しとなる。進路状況を見ると、進学では国公立大学という高い目的と強い意志をもって進んでいる。就職では県内外半々というバランスで、就職先も県内の実績のある企業や、県外でも日本を代表する会社へ進んでいる。これも成果が出ていると強く感じた。また、中高6年間の中で生徒の楽しみとして部活動がウエイトを占める。保護者も期待をしている。部活動でも活躍してもらいたい。生徒たちは充実した学校生活を送っている。また、先生方のいろいろな場面での努力を感じた。各研修会に積極的に参加し自らを育てている。学校評価について、各アンケートを継続的に集計して検討され、この先の道筋を考えるうえで大変いい資料になっている。少子化による教員数減という中でいろいろな教育活動に取り組み心強い。いじめ問題については、個人的意見としていじめをゼロにするには難しいと思っている。人間性が成熟した者はいじめをしない。そこに至っていない過程では気持ちを抑えきれないと思う。ゼロということは先生方の努力の賜物である。教職員や保護者の自由記述の意見は、これからのことを考えるヒントやきっかけになる。全般的によい結果が記述されている。

[評価者C]

20周年記念事業の実行委員長として来賓者の選考を進めていきます。先生方もお忙しいと思いますがご協力をお願いします。教職員不足という状況のなかでも子供たちの学習意欲を高める為に日々ご尽力を頂き敬意を表します。研修部の資料で、指導主事の先生から先生方への細かな指導を受け、子供たちへの授業の進め方に役立っていることに感謝します。アンケートの集計率の伸びない状況の中で、肯定的な回答割合が7割となっている。保護者の関心を高め集計率を向上させる工夫をしてもらいたい。課題と成果について、「教職員間の連携、保護者との連携が上昇した」「地域や保護者に対する情報発信に結びついた」とあるが違和感もある。教職員の方には、忙しい中子供たちの為にこれ

からもご尽力願います。

[評価者D]

教室では生徒が車座になってその場でチームを組んで授業に臨んでいた。清陵の子は実に素直である。数年前は町中を生徒たちがグループで行動していた。以前は、部活動帰りにまとまって生徒たちが来店していたが、今はほとんど個々で行動しているようだ。いじめアンケートの中学校の結果で、「いじめを受けた場合、信頼して相談できる人がいますか」の質問に対して、「いる」という回答が8割を超え、すごくよいことだと思う。

[評価者E]

22組の数学の授業で、問題の分からない生徒に近くの生徒が先生より良く教えているように思えた。そういう場面を初めて見て感激した。ホームページを見ているが、いじめの事に関して保護者の方もいじめの対策をどのようにしているか気になっていると思う。

[評価者F]

中学校3年、高校3年の6年間大変お世話になりました。子供も卒業しますが楽しい教育をして頂いたと思っています。

[評価者G]

中学校の生徒数が減ってきている。ある小学校では中学校がすぐ近くにあるので、なかなか清陵中には目を向けないところがある。中学生の人数が少ないが、中学校も清陵学院を盛り上げていてもらいたい。

[高教頭]

どうもありがとうございました。最後に校長から挨拶いたします。

校長挨拶

今日は大変貴重なご意見を頂きました。再度皆様からの意見と合わせて、今日の資料を精査した上で来年度に向けての改善点を具体的にして実行していきたい。皆様にはこの後もお気づきの点等ご助言を頂きたい。本日はありがとうございました。